

応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内（未発表のものに限る）。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(☞koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

立ち話また長うなるほどべつと言われてほだばと相槌などして
 菊地せつ子
 ひとりでに歩き出します論吉さん物高き世は飛んで行くよう
 大庭美智子
 花粉症に怠けがちな春の日々々母のお叱り聞こえてきそう
 佐藤 啓子
 雲ひとつなき青空に残雪の蔵王を望み背筋を伸ばす
 齋藤 巖
 牡丹の萌黄色の頃をこれまでは見過ごし居りき
 寺崎 悦子
 なかなかなるを
 ライトアップの白石城の夜桜を思っ何年ようやく見たる
 阿部かつみ
 イチゴ苗植えて花咲く時を待つ仲よき友の贈りものうれし
 遠藤 舞
 定年ぞ溪流釣りから遠ざかり今は詩歌を趣味にせん
 我妻 孝則
 うた一首清書せんとし昨日まで覚えておりし漢字出でこそ
 山田 禮
 坪庭に数本埋めし大根を抜けばみずみずし無事に越冬
 末吉アツ子

【評】一首目、気のおけない老友との会話である。詠語がおもしろく効果的。
 二首目、狂歌だ。諭吉さんという一万円札の呼称はユニーク。ひとりでもよい。
 三首目、精を出せないでいる情けなさを、結句のそうはぞつなりの略で、動詞「来」の運用形に接続している。

俳壇

山家 弘子 選

草ぐさの息吹の青きイースター
 花に触れ花の命を惜しむかな
 何回も道をおさらい入学児
 老二人命の話春の午後
 藤多伊都子
 刃田 鉄也
 平間 幸恵
 菊地せつ子

【評】句目、たった一本残った松が、震災から十三回忌の今沈黙の果てに語り出す。わだつみの声にも似た叫びが耳を打つ。
 二句目、明日ありと思ふ心のあだ桜…病床の姉に見せたいと願う気持ち。以心伝心姉妹愛が胸を打つ。
 三句目、価格とともにポイントサービスが日常化している昨今。曜日によって付与率が違う店もある。世知辛い世の中を生きる知恵。むべなるかな。

柳壇

四竈 英夫 選

鯉泳ぐ沢端川や初燕
 凛と咲く椿の花の落ちてなお
 牡丹の赤芽伸びゆく昨日今日
 野遊びの子らに響くや鳥の声
 花満開ランドセル背に写真撮る
 春の空飛行機雲の幾筋も
 星 明
 赤井畑柳二
 末吉アツ子
 山田 もも
 佐藤 隆志
 我妻 孝則

【評】句目、十字架上で際になったキリストが三日後によみがえったとされる祝日。地上の草々も一斉に青々となり祝福しているようだ。
 二句目、この俳壇の投稿者であられた方が二月に亡くなられた。才媛の死を惜しむ深い哀しみは選者も同じ。
 三句目、入学前の子どもの安全のために、通学路を何回も教える親心。

Shiroishi Market

フレッシュマーケット

～まだ知らない地元農産物の魅力を届けたい！～

担当者がオススメする地元の農産物や直売所などの魅力をお届けします！
 ～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進します～

市内の農産物直売所情報▶



▲表面に付いている粒々にほのかな塩味が含まれています



▲パスタに添えるとより彩りとおいしさが引き立ちます

異彩を放つ野菜「アイスプラント」!

葉や茎の表面に付いているきれいで細かい水滴のような粒々が、凍っているように見えることから「アイスプラント」と呼ばれています。

食べたときに野菜独特の青臭さがなく、ほのかな塩味とシャキシャキとした食感が特徴で、生でもゆでもおいしい野菜です。オススメは、生のまま食感を楽しみながら味わうことです。おもしろい市場で購入できますので、ぜひご堪能ください!

農林課 ☎22-1253



▲安全・安心な交通社会の実現へ向け、いざ出陣!

交通事故事故ゼロへ!

春の交通安全県民総ぐるみ運動出動式

5月11日から20日までの10日間、春の交通安全県民総ぐるみ運動が実施され、初日の11日、白石城本丸広場で4年ぶりに出動式を行いました。当日は、白石警察署員や交通安全関係団体の会員など約70人が参加。式では、甲冑武者と参加者全員が「エイ、エイ、オー」と関の声を上げ、交通事故ゼロを祈願しました。



▲パーク内のごみや木の枝を拾い集める生徒たち

きれいな環境で春の観光を
スパッシュランドパーク清掃活動

5月1日、小原小・中学校の児童生徒がスパッシュランドパークで清掃活動を行いました。この活動は、きれいな環境で観光客を迎えようと毎年実施。この日は、児童生徒や地域の方約50人が参加し、パーク内のごみを集めました。参加した生徒は「訪れた方にきれいな環境で観光を楽しんでほしいです」と話してくれました。



▲5周年を迎えた109-one。たくさんの花で彩られました

109-one に新しい彩り

移住交流サポートセンターにお花を植えよう!

5月13日、白石市移住交流サポートセンター「109-one」で花植えのイベントを開催しました。この日は、家族連れや友人同士など約20人が参加。土入れから花の苗植えまで協力して行い、色とりどりのすてきな花を飾りました。参加者は「皆さんとわいわい作業できたことが楽しかったです」と話してくれました。



▲楽しそうにペットボトルボウリングで遊ぶ子ども

子どもたちの笑顔あふれる
第46回白石市こどもまつり

5月14日、中央公民館で「第46回白石市こどもまつり」が4年ぶりに開催され、多くの家族連れで賑わいました。会場では的あてやペットボトルボウリング、丸太切り体験、ジャンボ折り紙、竹トンボ作成コーナー、人形劇など多くの遊び場があり、会場内は子どもたちの笑顔と歓声であふれていました。